（毎月１・15日発行）

自衛隊応援まつり「防衛ホーム臨時アキバ派遣隊」（仮）

防衛ホーム新聞社は２月２０日から２８日までの９日間、東京秋葉原駅前にある「ボークス秋葉原　ホビー天国２」において、自衛隊応援まつり「防衛ホーム臨時アキバ派遣隊」（仮）を行なった。

これは、昨年から続く新型コロナウィルス禍の影響などにより、自衛隊イベントが一切中止になっていることから「自衛隊のできないことで自衛隊を応援する！」をモットーとしている弊社が「自衛隊イベントがないなら、自分達でやっちゃおう！」という気持ちから企画したもの。

常日頃から私たちの国の平和、国民の安心安全を守ってくれている「防衛省・自衛隊」の存在の PR を違う視点から行おうと、陸上幕僚監部・海上幕僚監部・航空幕僚監部の広報室を始め、地方協力本部や各部隊の協力を仰いだ。会場には、北は名寄駐屯地から南は沖縄地本まで、各種ポスターを展示し、パンフレット及びカタログを配布した。

「東京にいて、地方の部隊のパンフレットが手に入るなんて！嬉しい～」「陸・海・空のこんな立派なパンフレットもらって良いの？」「部隊ごとに色があるんだね、ポスターによく表れているよ」「娘がこの春から自衛隊に入るのよ。少し不安だったけど、ポスターやカタログを見て、暖かくて、何だか安心してきた」「入隊している息子になかなか会えないから、せめてパンフレットだけでももらおうと思って」「自衛隊も進路に考えているんだ」など、様々な方が訪れた。

初日で無くなってしまったパンフレットも多くお詫びをしながら話をするのも楽しく、「自衛隊のファンになったよ」と言われると、このイベントを開催して良かったと心から思えた。９日間の来場者数は物販ブースも含めて約 5,000 名。コロナ禍でなければ、もう少し事前宣伝をしたかった。第２回第３回と続けて実施したいと考えている。

東日本大震災発災直後から動いた
自衛隊員への著名人等によるメッセージ！

PR ブース入り口では、陸自キャラクタータクマ君とユウちゃんがお出迎え

前日には、クイズ番組の景品に「撃シリーズ」が使用されました。

「ポスター頂戴！」と多くの方に言われましたが…ごめんなさい、次回も使いますので…

カタログやパンフレットも３ヶ所に分けて置かせて頂きました。

自衛隊応援まつり「防衛ホーム臨時アキバ派遣隊」（仮）会場で、多くの人の目を奪った、防衛ホーム

2011 年４月１日号と５月１日号の紙面。じっくりと涙を拭いながら読む人が何名もおられた。

自衛隊の皆さん。頼みます!!

自らが被災者へ、子どもの卒業式に出る予定だったか、結婚式を挙げるはずだったか…、様々な自衛官が「東北地方太平洋沖地震等」に対する活動をされていることに私たちは心から感謝しています。「最後の砦」の自衛隊の皆様、無事に家族と団欒の時を過ごされますようお祈り申し上げます。

自衛隊の皆さん。頼みます!!

特集　原子力災害派遣

自衛隊・消防・東電を統合調整（J ヴィレッジ）

3月11日に発生した東日本大震災に係る、大規模震災災害派遣の命令を受け全国の部隊が災害派遣活動を開始した。また、14日には陸海空を統合した統合任務部隊「JOINT TASK FORCE TOHOKU」が編成され、東北方面総監が指揮を執り日本各地の部隊が活動している。

しかし、原発への対処は JTF—TH とは別の指揮系統であり、14日に原子力災害派遣の行動命令が下達されJ-ヴィレッジ内の合同現地調整所の総合活動の指揮を開始。福島第一原発から約20km のところにある J-ヴィレッジや郡山総屯地、福島県庁に CRP 司令部の調整所等をおき、日本原子力災害派遣活動（主な活動は、除染活動・駐車場の整備・駐屯地のヒータリクン）を行なった。

それぞれの特に合わせた原子力災害活動を行っている隊員の姿とコメントを紹介するとともに（写真説明の「」内は隊員の生コメントですが、写真の人物とコメントは別です）、改めて「隊員の皆さん、頼みます！」

特殊消防車による放水

任務上着の複合の装備
「防護マスクは着けたままにしておくが、10 kgひりに配給されたトマトが消耗でみずみずしく大変美味しかったのを覚えている」

内閣総理大臣視察　放水作業をする陸海空の隊員への激励の状況
「自衛隊の代名詞という気持ちで職務に就く」

第６化学防護隊（北熊本駐屯地　隊長　長谷川　修　２等陸佐）は、３月22日から福島県いわき市の「いわき市総合保健福祉センター」において、いわき保健所が実施するスクリーニングに進捗状況の支援を行っている。

住民へのスクリーニングを実施のため、いわき市内の自衛官募集の広報官隊員が多数と市の支援を行っている。

ふるさとの大切さ、近くで頑張るみんなの「いわき」と、住民のために活動する広報官は「対都の自衛隊と同じ地域で活躍してくれてありがとう」のコメントがあった。

第６化学防護隊は、同隊の心得・同隊と連携して、今日も任務に邁進している。

CRP 作戦会議
「もしろ、頭々と長期戦に備えるところです」

J-ヴィレッジ内を視察する防衛長

サーモグラフィ撮影時の隊員の装備状況

サウスタトルエ上での国家施設警備
「今日の任務で、一緒の人数と警戒の際と、自分たち自衛官にも気にみられている分かり、この任務の重要さが分かった」

ヘリによる空中モニタリング後のスクリーニング
「今までの訓練成果を十分に出すことが出来るよう一生懸命頑張りたい」

原発への放射能に備えたミッションブリーフィング
「放出をもっての静かに任務を遂行するように心掛けた」

人員輸送車
「我々は空挺隊員。原発対応という全く行ったことがないこの任務を今迄の訓練が無駄にならないように全力で取り組んでいきます」

ヘリによる空中モニタリング後のスクリーニング
「今までの訓練成果を十分に出すことが出来るよう一生懸命頑張りたい」

原発への放射能に備えたミッションブリーフィング
「放出をもっての静かに任務を遂行するように心掛けた」

人員輸送車
「我々は空挺隊員。原発対応という全く行ったことがないこの任務を今迄の訓練が無駄にならないように全力で取り組んでいきます」

情報収集のための訓練の準備をする隊員
「日本の災害が起こりえるまで自分の任務を最後まで遂行し、全うします」

タンク確認
「日本の危機に自衛官としても、自分にできる今を全力で尽くします」